

# 地域脱炭素の実現に向けた 当社の取組

株式会社YMFG ZONEプランニング

## 事業コンセプト

# 地域とともに、未来をデザインする

## 事業の戦略的位置づけ

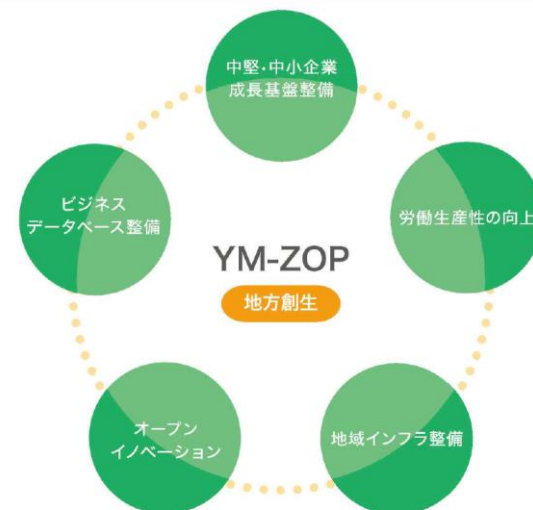
# 未来志向で新たな価値創造

## クリティカル・コア

# 地域と域外の有機的結合

## 会社概要

- **会社名** : 株式会社 YMFGZONE プラニング  
(略称:YM-ZOP「ワイエムゾップ」)
- **本社営業所** : 山口県下関市竹崎町四丁目2番36号  
広島オフィス(もみじ銀行6階)  
北九州オフィス(北九州銀行2階)
- **設立** : 2015年7月21日
- **資本金** : 30百万円
- **代表者** : 藏重 嘉伸
- **株主** : 株式会社 山口フィナンシャルグループ  
(100%)

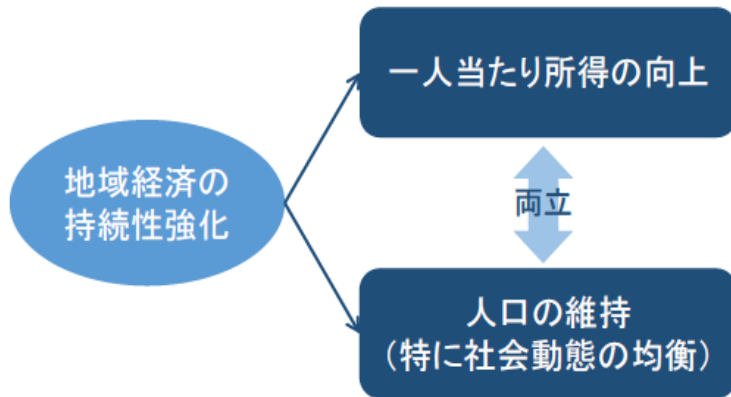


# なぜ、YM-ZOPが求められたか？（地方創生に必要な条件）

地方創生には、地域経済の「持続性の強化」と「自立性の強化」の2つの視点が必要

## 【地域の持続性強化】

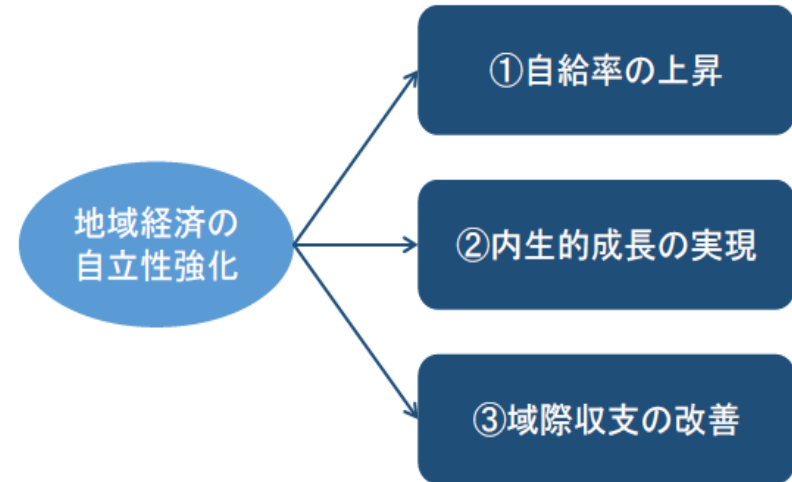
### （持続の条件）



複眼的な思考

## 【地域の自立性強化】

### （自立の条件）



複数の視点がある地域経済の自立性

地域を見通した戦略やデザインという  
発想が必要となる

地方創生コンサルティングの必要性

## 最先端の仕組みをYMFG ZONEに呼び込みイノベーションを創出



— 自治体 —

 <b>下関市</b> Shimonoseki-city	 <b>山口市</b> Yamaguchi City Website	 <b>宇部市</b> 緑と花と彫刻のまち	 <b>美祿市</b> MINE CITY
 <b>Hofu City</b> <b>防府市</b>	 <b>すおうおおしまちょう</b> <b>周防大島町</b> SUO-OSHIMA TOWN	 <b>岩国市</b> Iwakuni City Website	 <b>中津市</b> Nakatsu City
 <b>山口県</b> <b>柳井市</b>	 <b>山口県</b> <b>阿武町役場</b>	 <b>長門市</b> Nagato city website	 <b>萩市</b> Hagi City Website
 <b>大崎上島</b> Osakamijima town	 <b>周南市</b> SHUNAN CITY	 <b>Sanyo-onoda</b> <b>山陽小野田市</b> Sanyo-Onoda City	 <b>くだまつ</b> <b>下松市</b> Kudamatsu City
 <b>光市</b> Hikari City	 <b>北広島町</b> Kitahiroshima-cho	 <b>山口県の東の玄関口</b> <b>和木町</b> 緑の風薫る文化のまち	 <b>広島県・神石郡 じんせきこうげんちょう</b> <b>神石高原町</b>

## — 民間企業・各種団体等 —

 Inspire the Next			
	ヒトと会社に、きっかけを。 	 MITSUI & CO.	
	 山口第一交通グループ YAMAGUCHI DAICHI TRANSPORTATION GROUP	 Regional Economic Activation	 Regional Company Group
	 YAMAGUCHI DENTAL ASSOCIATION 公益社団法人 山口県歯科医師会		 徳山大学
	 新南陽商工会議所 The Shinnanyo chamber of commerce & industry	 民間資金等活用事業推進機構 Private Finance Initiative Promotion Corporation of Japan	
 環境省 Ministry of the Environment 中国四国地方環境事務所			



# 取組事例①

## 環境省 地域循環共生圏づくり プラットフォーム事業

- 地域循環共生圏とは、各地域が足もとにある地域資源を最大限活用しながら自立・分散型の社会を形成しつつ、地域の特性に応じて資源を補完し支え合うことにより、環境・経済・社会が統合的に循環し、地域の活力が最大限に発揮されることを目指す考え方





## 地域循環共生圏（日本発の脱炭素化・SDGs構想）

— サイバー空間とフィジカル空間の融合により、地域から人と自然のポテンシャルを引き出す生命系システム —

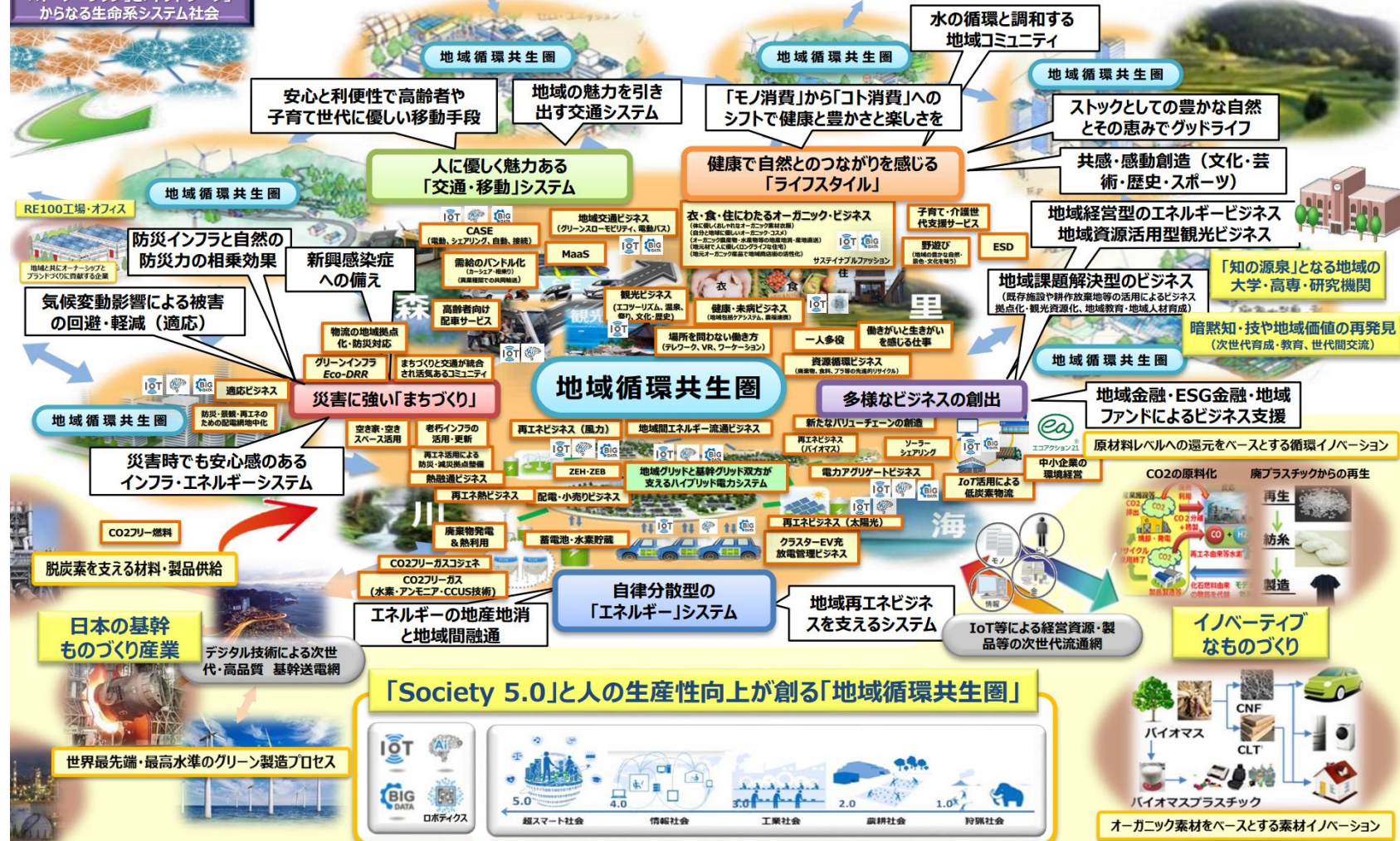
Ver. 26

「自立分散」×「相互連携」×「循環・共生」= 活力あふれる「地域循環共生圏」⇒「脱炭素化・SDGsの実現、そして世界へ」  
「オーナーシップ」「ネットワーク」「サステナブル」「人間の安全保障、次世代・女性のエンパワメントを基盤に」

⇒ **新たな価値とビジネスで成長を牽引する地域の存立基盤**

人々が健康で活き活きと暮らし幸せを実感することで、地域が自立し誇りを持ちながらも、他の地域とも有機的につながることにより、国土の隅々まで豊かさが行きわたる。

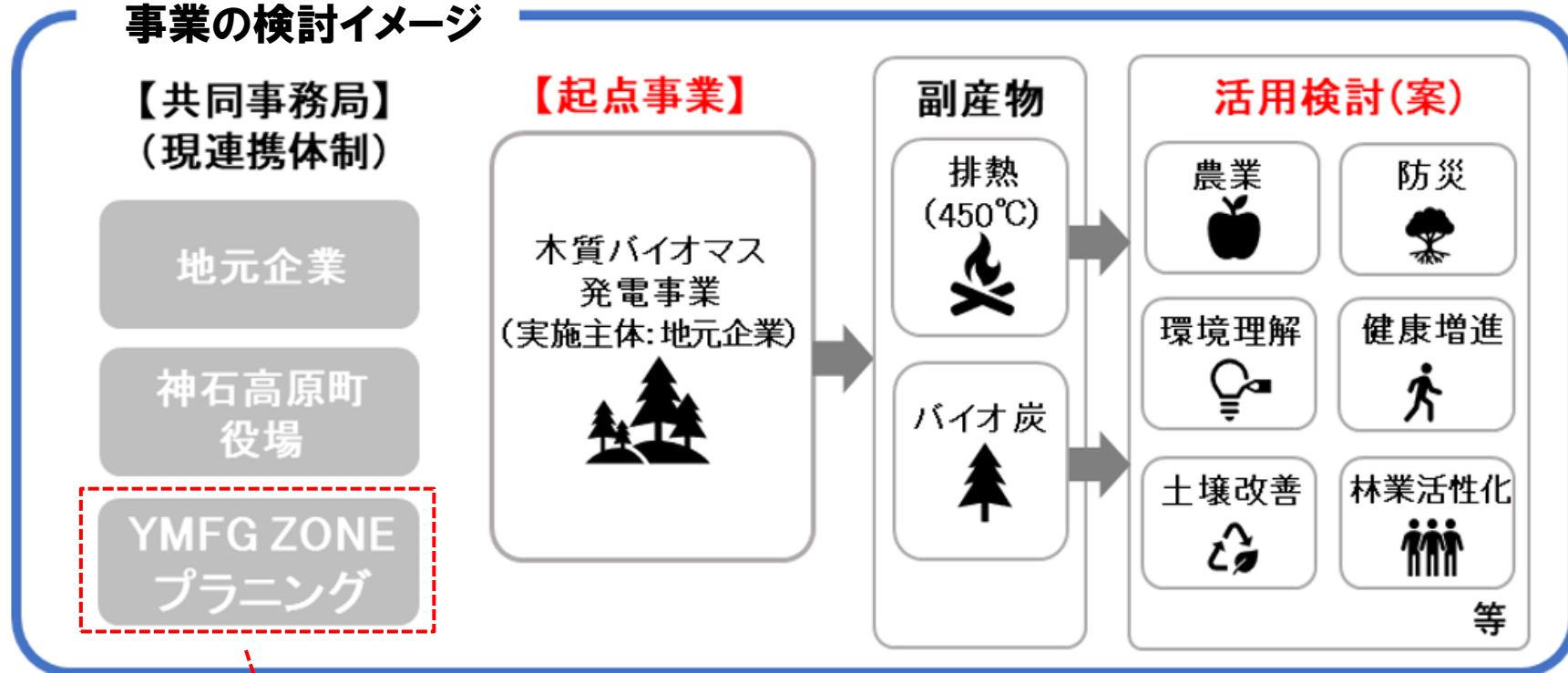
「オーナーシップ」と「ネットワーク」  
からなる生命系システム社会



## 事業概要

- 今年度、広島県神石高原町及び地元企業との連携により、地域循環共生圏の形成を目指す地域を支援する環境省公募事業に応募し採択。
- 地元企業が実施する、地域の森林資源(未利用林)を活用した木質バイオマス事業を起点として、そこから発生する副産物(“排熱(約450℃)”、“バイオ炭”)等を活用した“新たな経済循環の創出”及び“資源循環を通じた環境保全・カーボンニュートラルによる持続可能な地域づくり”等の検討を行う。

## 事業の検討イメージ



当社は共同事務局・運営企画の立場で参画



## 環境省事業及び地方創生の推進について連携

- 本件事業の共同事務局である、神石高原町と地方創生に係る包括連携協定を締結（令和3年10月6日）
- 環境省地域循環共生圏づくりプラットフォーム事業を具体プロジェクトとして連携して推進

### ◆ 進行中のプロジェクト 『環境省地域循環共生圏づくりプラットフォーム 事業の共同実施』



## YMFG NEWS RELEASE

2021年9月30日

各位

株式会社 山口フィナンシャルグループ

株式会社 YMFG ZONE プランニング

### 神石高原町との地方創生にかかる包括連携協定締結について

山口フィナンシャルグループ（代表取締役社長グループCEO 榎梨 敬介）およびYMFG ZONEプランニング（社長 蔵重 嘉伸）は、地方創生に係る新たな施策・事業を積極的に推進するため、神石高原町（町長 入江 嘉則）との三者間による「地方創生に係る包括連携協定」を締結することとしましたので、お知らせいたします。

#### 記

#### 1. 包括連携協定の目的

地域が有する資源を活用しながら、環境・経済・社会が統合的に循環する地域づくりを連携して推進するとともに、その他地方創生に関わる様々な分野で相互に協力し、協働した取り組みなどを行うことにより、地方創生の実現に資する。

#### 2. 包括連携協定の主な内容

- (1) 若い世代が働きたくなる職場や環境の確保に関すること
- (2) 本町の魅力を伝える交流人口の拡大に関すること
- (3) 地域循環共生圏の形成に係る取組の推進に関すること
- (4) その他、地方創生の推進に関すること

#### 3. 進行中のプロジェクト

環境省地域循環共生圏づくりプラットフォーム事業の共同実施

#### 4. 包括連携協定締結式

下記のとおり包括連携協定締結式を行います。

- (1) 日 時 令和3年10月6日（水）11時00分～
- (2) 場 所 神石高原町 三和協働支援センター 大集会室
- (3) 出 席 者 神石高原町 町長 入江 嘉則  
（敬称略） もみじ銀行 頭取 小田 宏史（代理出席）  
YMFG ZONEプランニング 社長 蔵重 嘉伸

以上

#### 【本件に関するお問合せ先】

YMFG ZONEプランニング 恩田 TEL 082-241-7820



## 取組事例②

# 地域脱炭素・SDGsの推進に向けた Jクラブ レノファ山口・環境省中国四国地方 環境事務所との連携



## ◆2021年11月3日 全国初の協定締結

### YMFG NEWS RELEASE

2021年10月27日

各位

株式会社 山口フィナンシャルグループ  
株式会社 山口銀行  
株式会社 YMFG ZONE プランニング

#### 環境省中国四国地方環境事務所、レノファ山口との包括連携協定締結について

山口フィナンシャルグループ（代表取締役社長グループCEO 榎梨 敬介）および山口銀行（取締役頭取 神田 一成）、YMFG ZONEプランニング（社長 蔵重 嘉伸）は、SDGsの達成や脱炭素・循環型社会の実現等に向けた新たな取組を推進するため、環境省中国四国地方環境事務所（所長 上田 健二）およびレノファ山口（代表取締役社長 河村 孝）との五者間による包括連携協定を締結することとしましたので、お知らせいたします。

本連携協定により、全国初となる『山口県Jクラブ「ESG・SDGs」推進プラットフォーム（仮称）』を形成することで、山口県におけるローカルSDGsの推進をはじめ、カーボンニュートラル、サーキュラーエコノミー、分散型社会への移行の推進等について、全国に先駆けて先進事例創出に向けた取組を展開してまいります。

記

#### 1. 包括連携協定締結の背景

環境省と公益財団法人日本プロサッカーリーグ（以下Jリーグ）は、SDGs達成に向けた取組や脱炭素社会の実現に向けた取組の推進による持続可能な地域社会の構築を目的に、令和3年6月28日に連携協定を締結いたしました。

この取組を日本各地へ展開する中で、山口県におけるSDGs推進等を目的として、五者間による包括連携協定締結の運びとなりました。

#### 2. 包括連携協定の目的

包括的な連携・協力のもと、様々な分野で相互に協力し、協働した取組等を行うことで、SDGsの達成や脱炭素・循環型社会の実現等に資するため。

#### 3. 包括連携協定の主な内容

- (1) SDGsの観点での地域の活力を最大限発揮するため、地域社会を構成する行政、企業、金融機関、市民団体、大学・学校、サポーター、Jクラブなどのステークホルダーが一体となった取組を実現するための環境整備と情報発信・コミュニケーションの推進
- (2) 脱炭素社会（カーボンニュートラル）、循環経済（サーキュラーエコノミー）、分散型社会への移行を進めるための知見の共有や普及活動・行動変容を促す活動での協力
- (3) ホームタウンの地域資源を最大限活かした地産地消の取組の推進
- (4) 環境省とJリーグが持つ様々なチャネルを共有する連携の強化
- (5) 共通のゴールを実現するための更なるアクションを展開するための継続的な協議

(15) 県内社会 2021年(令和3年)11月4日 木曜日 山口新聞

## SDGs 推進へ連携

レノファ山口・環境省・山口FGなど5者



5者間による包括連携協定を結び記念撮影する関係者＝3日、山口市維新公園

### 協定締結、全国初

持続可能な開発目標（SDGs）の達成や脱炭素社会などの推進に向けた官民連携の取り組みを進めようと、サッカーJ2レノファ山口、環境省中国四国地方環境事務所、山口フィナンシャルグループ（FG）、山口銀行、YMFG ZONEプランニングは3日、5者間による包括連携協定を結んだ。

同省とJリーグが6月に持続可能な地域社会の構築を目的に締結した連携協定に関連し、全国的に取り組みを進める一つ、同省とJリーグクラブ、金融機関が連携協定を結ぶのは全国初で、先進事例の創出にも注力する。

山口市で締結式があり、レノファ山口の河村孝社長、同事務所の上田健二所長、山口FGの金子文毅地域共創ユニット長、同行の神田一成頭取、YMFG ZONEプランニングの蔵重嘉伸社長が出席し、協定書を交わした。

SDGsの達成や脱炭素社会、循環経済、分散型社会への移行推進を掲げ、プロスポーツクラブが持つ幅広い層への訴求力や地元金融機関の課題解決力を生かした取り組みを今後拡大させる。

上田所長は「異業種連携になる。互いに学び合い化学反応を起こして新しい価値をつくりたい」と話した。

（藤江広裕）



# 山口県 Jクラブ「ESG・SDGs」推進プラットフォームの創設

環境省とJリーグは締結(令和3年6月28日付)した連携協定を日本各地で展開することとしており、「環境省(中国四国地方環境事務所)」と地元金融グループが連携し、J2クラブチーム「レノファ山口」のアクションを支援し、地域脱炭素、ESG・SDGsに関する先行事例を創出する。

連携協定締結(令和3年6月28日付)



- カーボンニュートラル、脱炭素社会
- サーキュラーエコノミー、循環型経済
- 地域循環共生圏
- 普及啓発、教育等

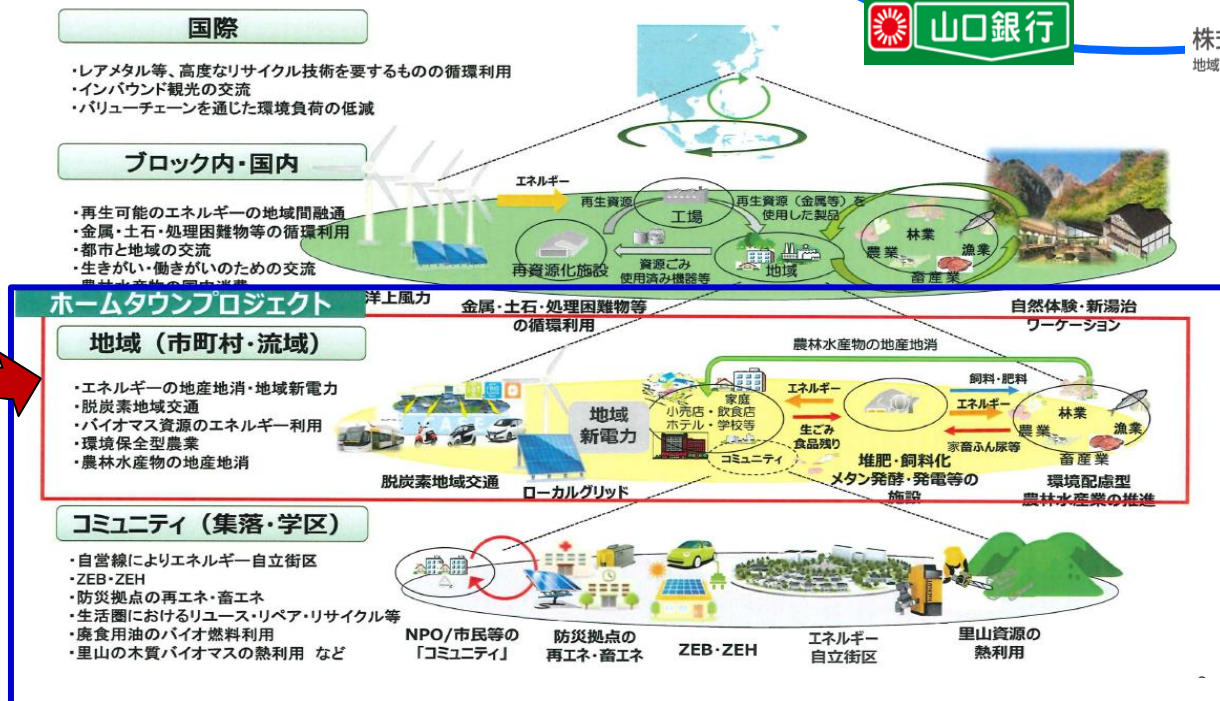
連携協定締結(令和3年11月3日付)



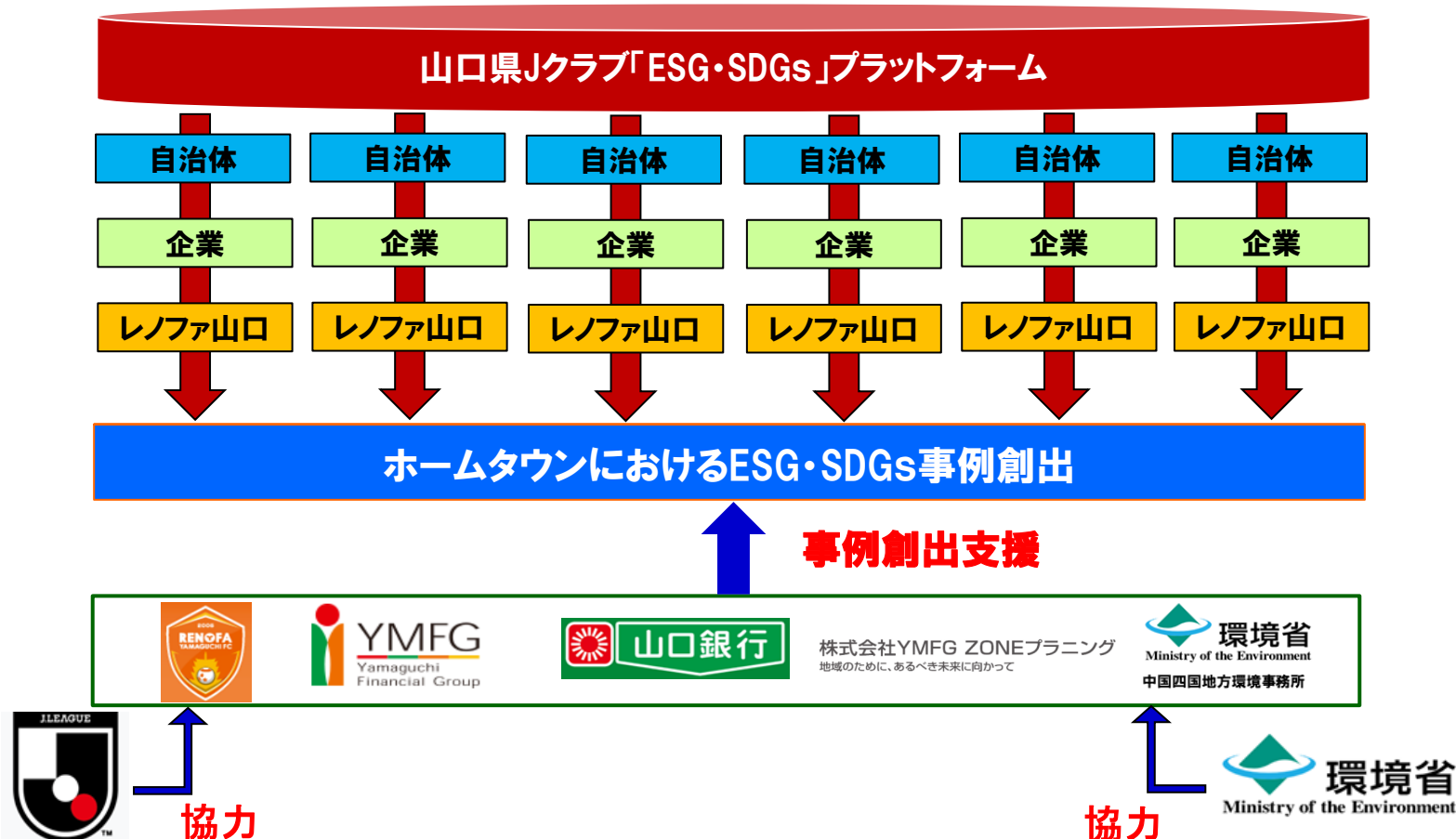
- カーボンニュートラル、脱炭素社会
- サーキュラーエコノミー、循環型経済
- 地域循環共生圏
- 普及啓発、教育等



株式会社YMFG ZONEプランニング  
地域のために、あるべき未来に向かって

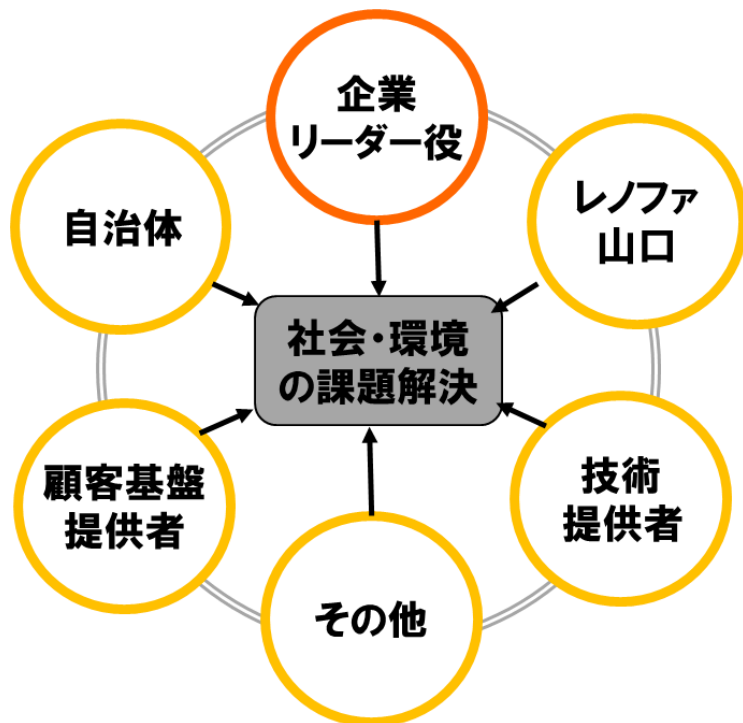


## 山口県 Jクラブ「ESG・SDGs」推進プラットフォーム



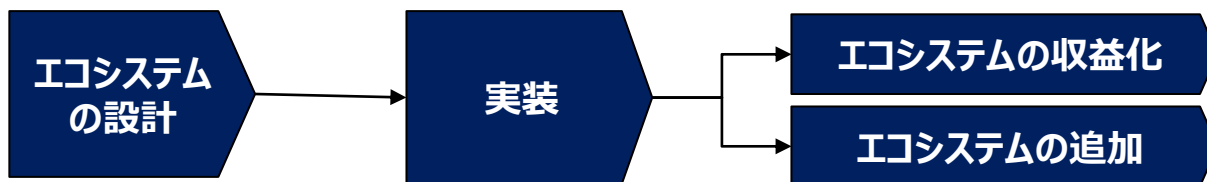
- ① SDGsの観点での地域の活力を最大限発揮するため、地域社会を構成する行政、企業、金融機関、市民団体、大学・学校、サポーター、Jクラブなどのステークホルダーが一体となった取組を実現するための環境整備と情報発信・コミュニケーションの推進
- ② 脱炭素社会（カーボンニュートラル）、循環経済（サーキュラーエコノミー）、分散型社会への移行を進めるための知見の共有や普及活動・行動変容を促す活動での協力
- ③ ホームタウンの地域資源を最大限活かした地産地消の取組の推進
- ④ 環境省とJリーグが持つ様々なチャンネルを共有する連携の強化
- ⑤ 共通のゴールを実現するための更なるアクションを展開するための継続的な協議

## 地域エコシステム



SDGsウエディングケーキ・モデル(ストックホルム環境研究所)

## 地域エコシステムが生み出される仕組み



## 地域エコシステムのプランニング

# **取組事例③**

## **脱炭素社会の実現に向けた 調査事業の受託**

## 当社の地域脱炭素に向けた自治体支援の取組イメージ

- 山口・広島・北九州地域において**ゼロカーボンシティを目指す自治体**が**実施する脱炭素へ向けた取り組みに対し、支援を行う。**
- 地域の幅広いニーズや期待に応えられるよう、山口FGのグループ間はもちろんのこと、取り組みに賛同いただける**パートナーと連携を図ることで効果的な推進活動を展開。**
- 具体的な活動として、**脱炭素社会実現に向けた計画策定の支援**、脱炭素社会実現に向けた案件の創出及び形成促進に向けた新たな取組を行い、**官民のノウハウの向上とともに新たな脱炭素関連事業の創出**を目指す。

地域において、地方自治体・金融機関・中核企業等が主体的に参画した体制を構築し、地域課題解決に資する脱炭素化の事業や政策を実行



山口エリア・広島エリア・北九州エリア



## 呉市 令和4年度脱炭素社会の実現に向けた次世代エネルギー等の利活用に関する基礎調査業務

### ■ 取組目的

- 世界や国と同様に呉市においても、水素などの次世代エネルギーの活用等による温室効果ガスの削減と、**次世代エネルギーへの転換に伴う新しいビジネスの創出等による産業発展を今後どのように行うかを検討する必要**がある。
- 今回の調査は、製造業を中心とした**市内企業における脱炭素化を推進するとともに、企業の価値の向上につながる取組を検討**するために必要な基礎的な調査を行う。

### ■ 実施体制（役割）

#### 【代表企業】

#### YMFG ZONE プランニング

- 調査事業全体コーディネート
- 脱炭素社会の実現を踏まえた世界・国内産業の動向調査
- 市内企業の脱炭素意向の調査
- 脱炭素化に向けた市内企業の業態転換他の各種方策検討 等

#### 【構成企業（有識者）】

#### 株式会社価値総合研究所

- 地域特性・再エネポテンシャル等の分析
- 次世代エネルギー製造に係る可能性検討 等

#### 【グループサポート体制金融機関】

#### もみじ銀行・山口銀行各支店

- 市内企業との取引ネットワークの提供
- 市内企業の動向の共有・把握 等

#### 【その他連携先】

地域経済団体（呉商工会議所、くれ産業振興センター等）



## 呉市 令和4年度脱炭素社会の実現に向けた次世代エネルギー等の利活用に関する基礎調査業務

### ■ 取組内容

- 脱炭素社会の実現を踏まえた世界の動向及び長期的な国内の産業構造の変化予測
- 脱炭素化に伴う産業構造の変革に向けた（他）県・（他）市の支援策の調査
- 脱炭素化に向けて業態転換等を図るために行う、市内企業の追加投資や 市内・市外企業の市内への立地を加速化させるための方策の検討
  - 市内企業へのアンケート・ヒアリングを実施し、脱炭素に係る取組状況や今後の取組意向等について調査
- 次世代エネルギーの地産地消、サプライチェーンの検討
  - 次世代エネルギーの製造・供給拠点としての可能性及び方策について検討



## 【今後】各地域で脱炭素に向けた取組が加速

- 地域脱炭素への取り組みは地方創生と地域課題解決に資する。
- 地域脱炭素への取り組みを加速化するためには、地域のポテンシャル把握及び多様な関係者・プレイヤーとの連携が必要。

# ご清聴ありがとうございました